

令和2年度 西区組織目標の年度末評価 と 令和3年度 西区組織目標 について



令和3年5月27日

西区自治協議会

西区長 笠原 明夢

西区 Nishi Ward

西区の課題



西区 人口の推移

学べて 遊べて
暮らせる
新潟西区

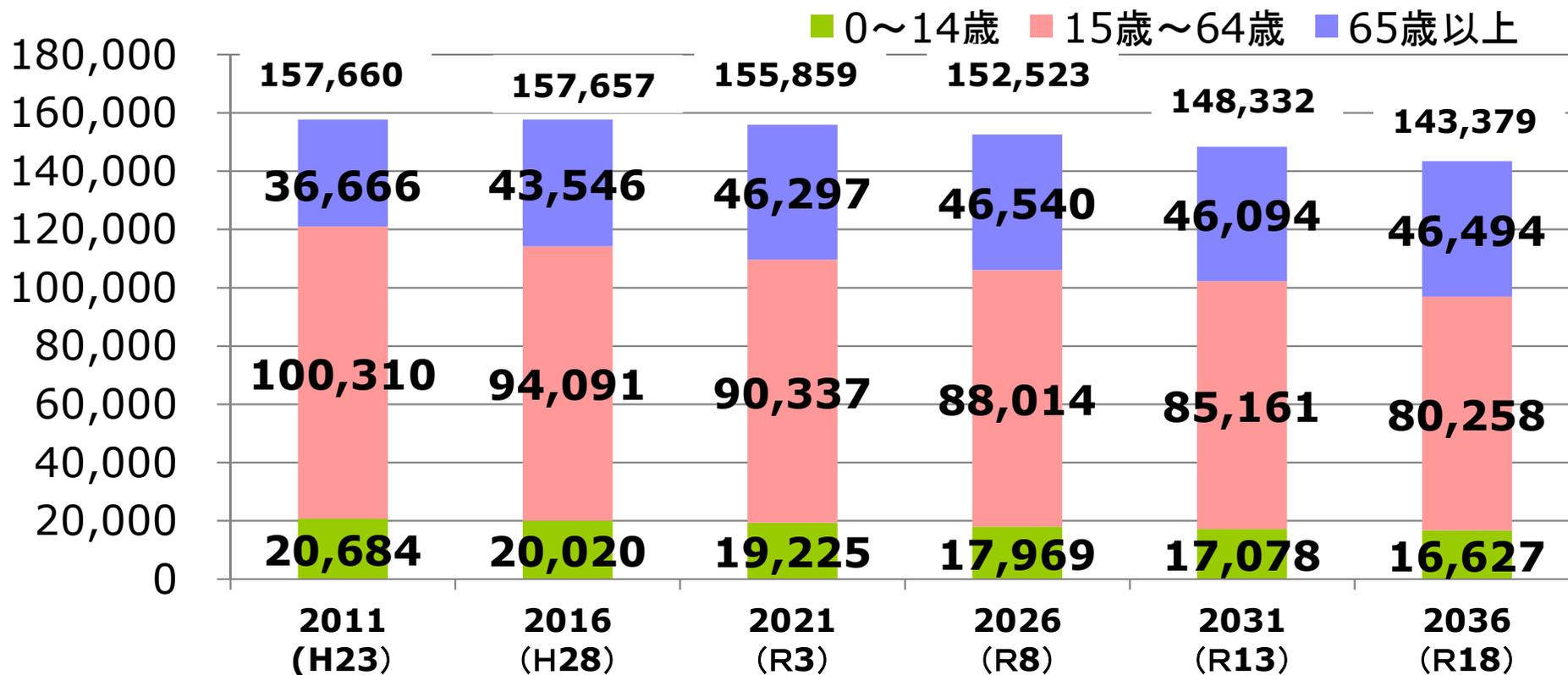


- 西区の総人口は、**減少局面**に入っている
- 生産年齢人口(15～64歳)の減少が大きく、年少人口(0～14歳)も減少が続く。一方、老年人口(65歳以上)は、増加する見込み。

総人口 2016 (H28) : 157,657人 ⇒ 2036 (R18) : 143,379人 Δ9.1%

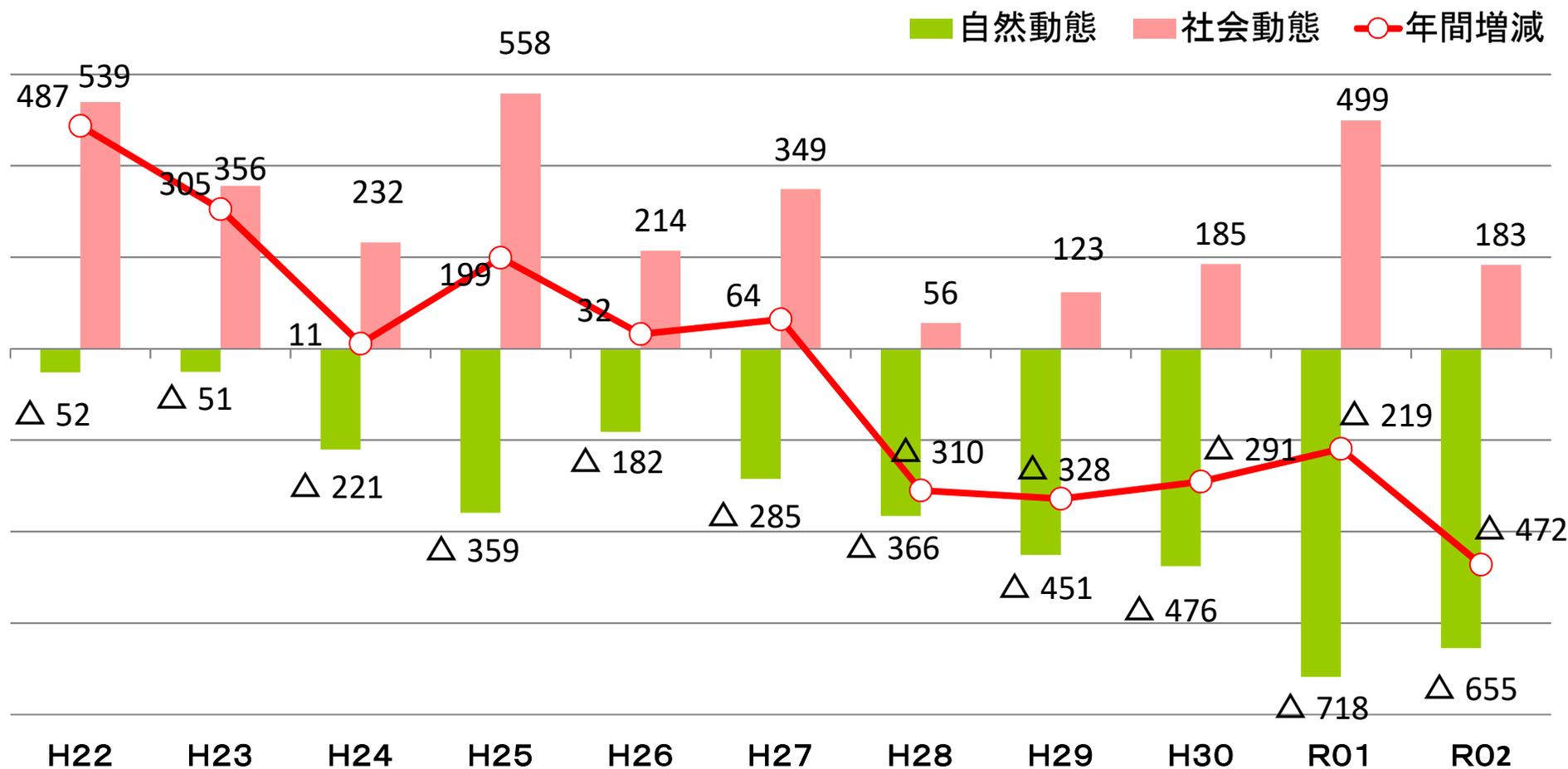
高齢化率 2016 (H28) : 27.6% ⇒ 2036 (R18) : 32.4%

(人) **※R3.4現在 : 155,894人 高齢化率29.7%**





- 自然動態は近年マイナス、社会動態はプラスが続いている。
- **平成28年より年間増減がマイナスに転じた**
- **自然動態のマイナス拡大、社会動態のプラス減少が人口減の要因**

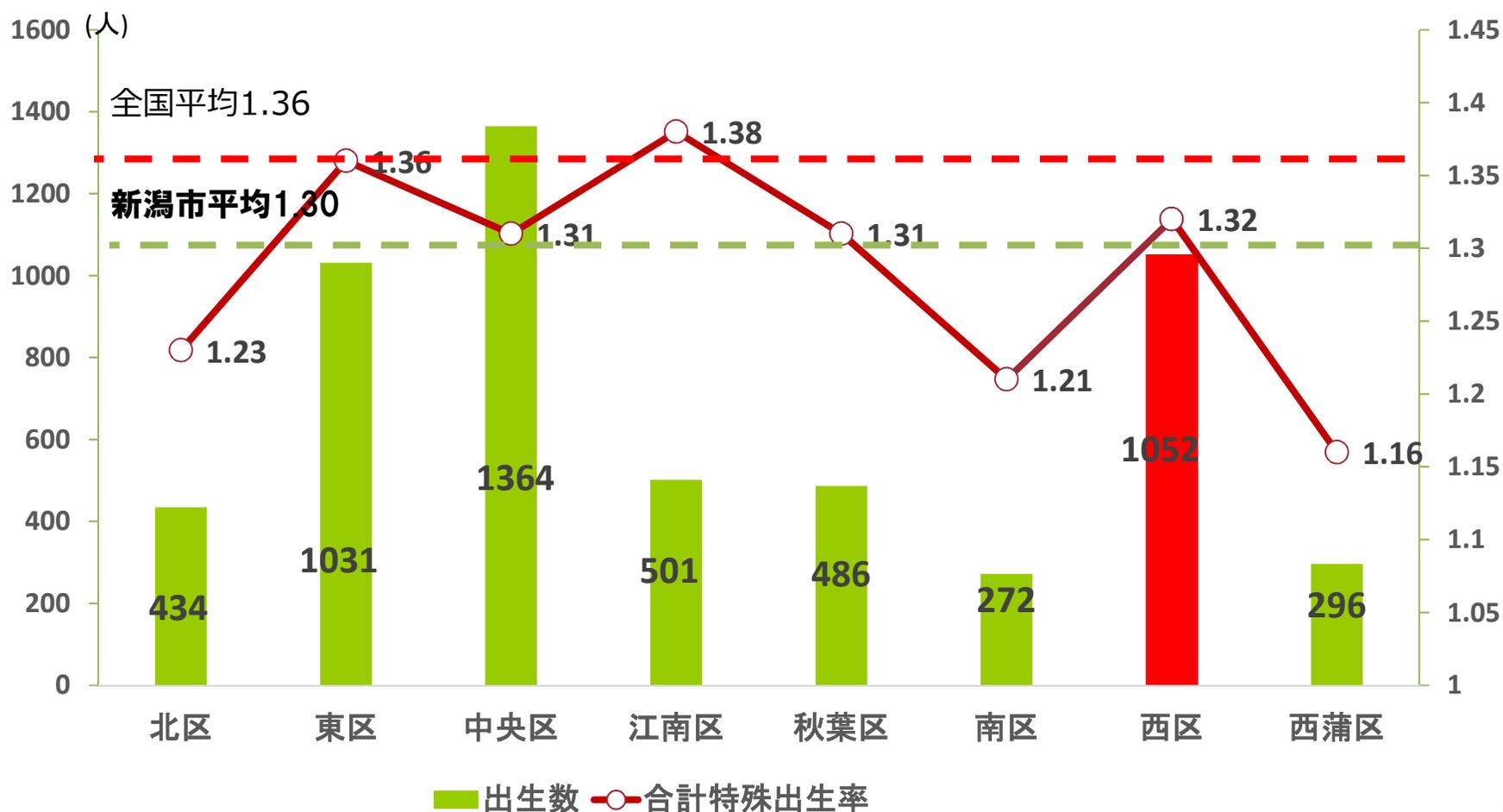


各区の出生数と合計特殊出生率（令和元年）

学べて 遊べて
暮らせる
新潟西区



- 全国平均は、平成27年から低下している。（H27：1.45）
- 出生数は、中央区、**西区**、東区の順となっており、人口に比例。
- 合計特殊出生率は、江南区、東区、**西区**の順に高い。
- 西区の合計特殊出生率は**，新潟市平均値を上回っている。



出典:新潟市保健と福祉

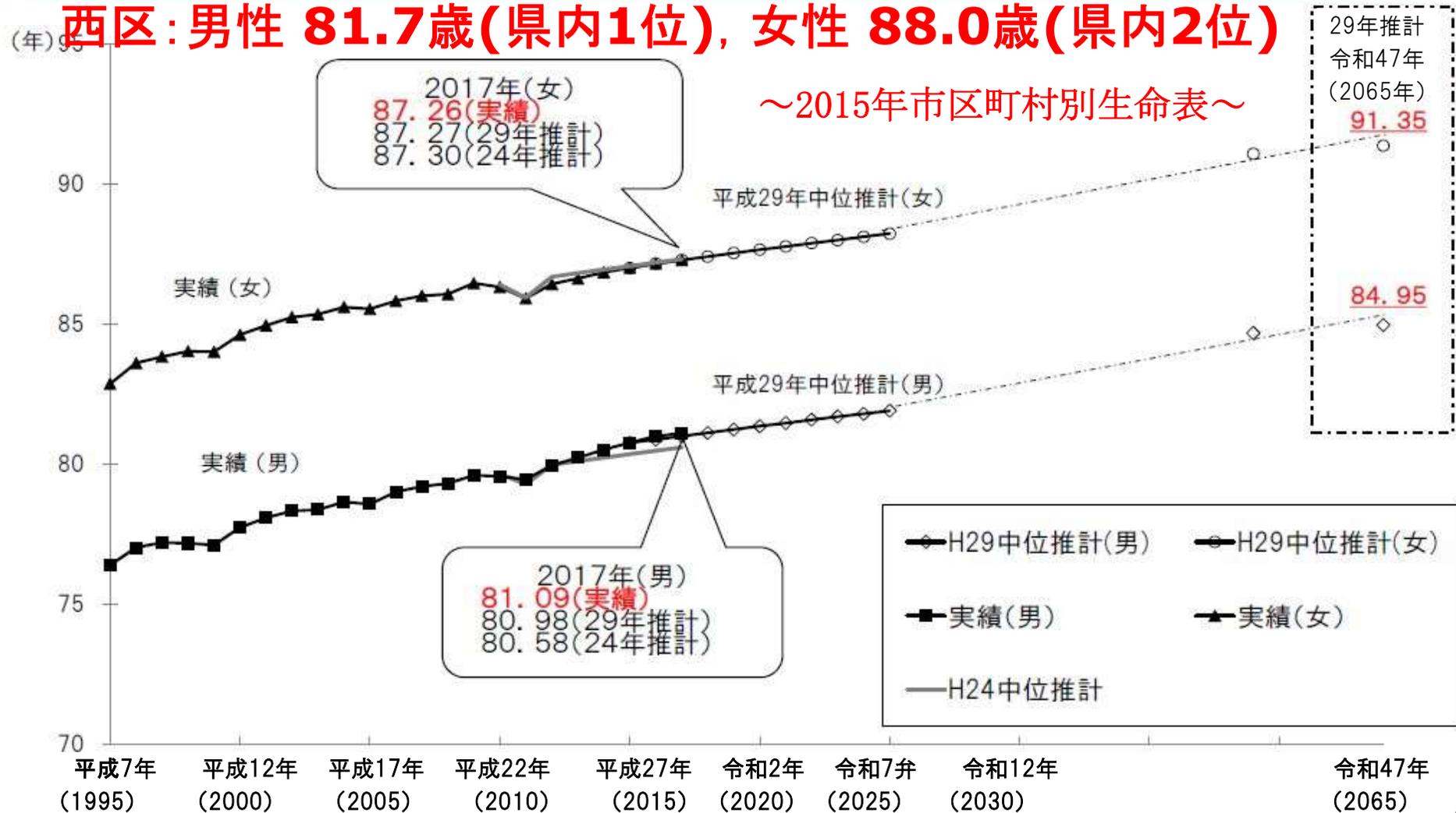
「人生100年時代」の到来 (厚生労働省HPより)



平均寿命の延伸(実績の推移と将来推計人口(平成29年推計)における仮定値)

- 平均寿命は延伸を続けており、2017年時点で、**女性は87.26歳**、**男性は81.09歳**となっている(実績)。
- 平成29年の将来人口推計では、**2065年時点で男女ともに、現在よりさらに4年前後延伸**することが仮定されている。

西区: 男性 81.7歳(県内1位), 女性 88.0歳(県内2位)



「人生100年時代」の到来 (厚生労働省HPより)

学べて 遊べて
暮らせる
新潟西区



65歳が特定の年齢まで生存する確率②

○65歳を迎えた方が特定の年齢まで生存する確率を数値で見ると、2015年(H27)時点で65歳を迎えた1950年(S25)生まれですでに、**男性の3人に1人、女性の5人に3人が90歳まで長生きする見込み**である。

○1990年(H2)生まれ(2055年(R37)に65歳)については、**男性の5人に2人、女性の3人に2人を超える方が90歳まで長生きする見込み**である。さらに、**女性については、5人に1人が100歳まで長生きする見込み**である。

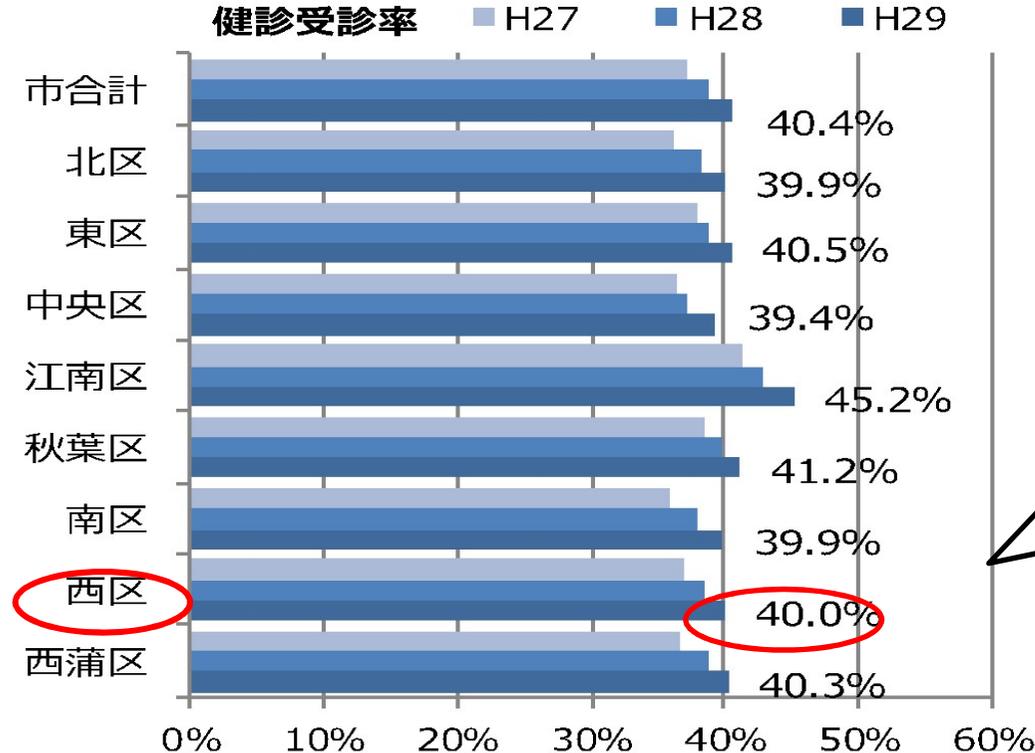
100歳以上の方:新潟市660人, うち西区126人 (R3.4末)

	男性			女性		
	80歳	90歳	100歳	80歳	90歳	100歳
2015年に65歳 [1950年生まれ]	73%	35%	4%	87%	60%	14%
2025年に65歳 [1960年生まれ]	75%	38%	5%	89%	64%	17%
2035年に65歳 [1970年生まれ]	77%	41%	6%	90%	67%	19%
2045年に65歳 [1980年生まれ]	78%	43%	6%	91%	69%	20%
2055年に65歳 [1990年生まれ]	79%	44%	6%	91%	69%	20%

※ 厚生労働省「完全生命表」「簡易生命表」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」より試算したもの。

健診受診率は約4割で、約6割の方が健診を受けていません

健診受診率(国保・後期高齢・協会けんぽの合計)



西区を含め、全市的に
微増ですが、年々受診率が
伸びています。

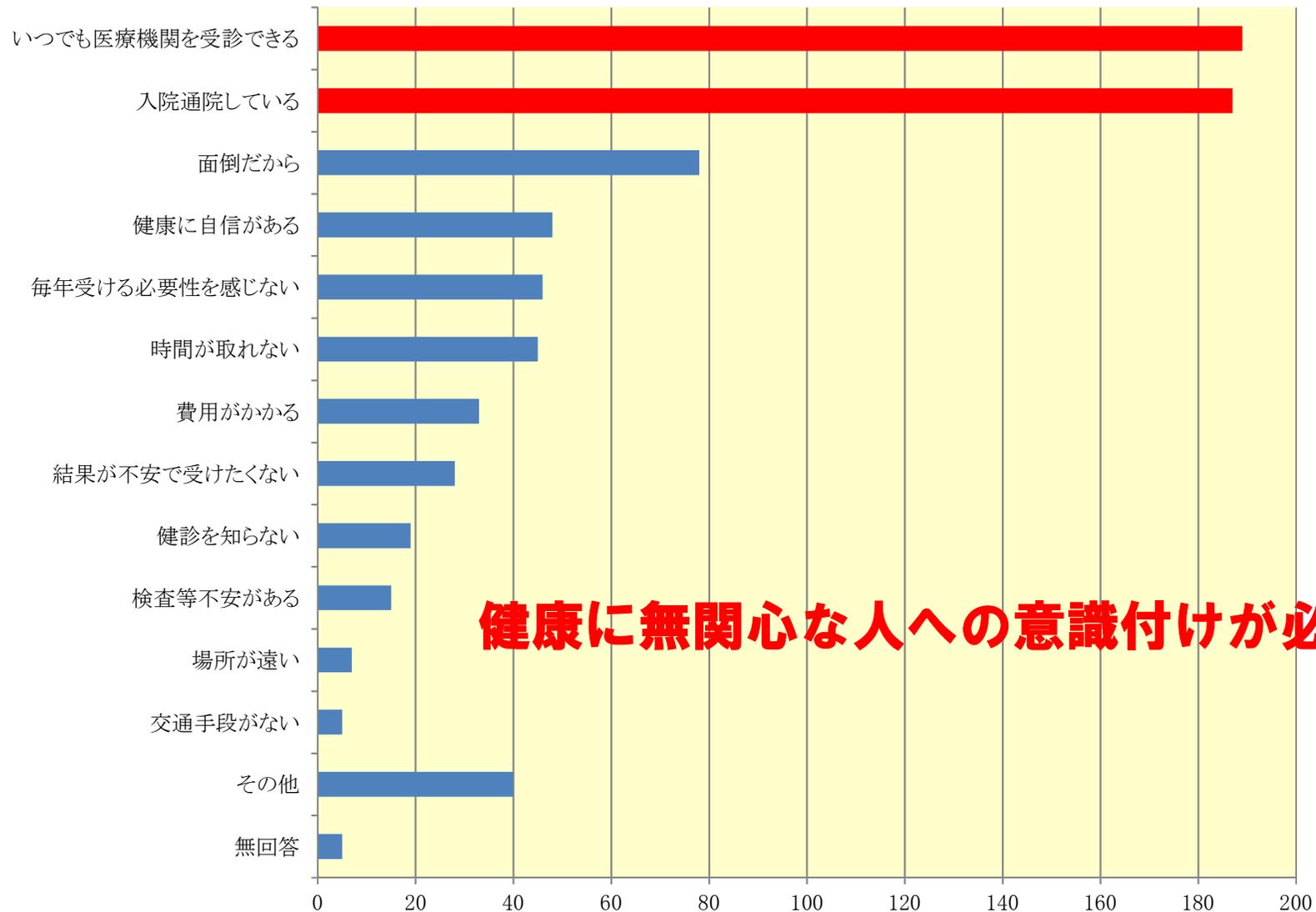
資料:新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ 特定健診(健診)データ
※特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第1条第1項の規定に基づき厚生労働大臣が定める者も分母に含む

重症疾患で急に倒れた患者さん※のうち、
約6割が健診連続未受診です!

※平成24～平成25年度のレセプト傷病名に重症疾患が含まれず、平成26年度のレセプト傷病名に初めて重症疾患が発生した患者。重症疾患の傷病定義は、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性合併症

早期発見・早期治療のために健診受診は重要です
自覚症状がなくても、病気で通院していても、健診は受診しましょう!

健診を受診しない理由 (平成29年度)



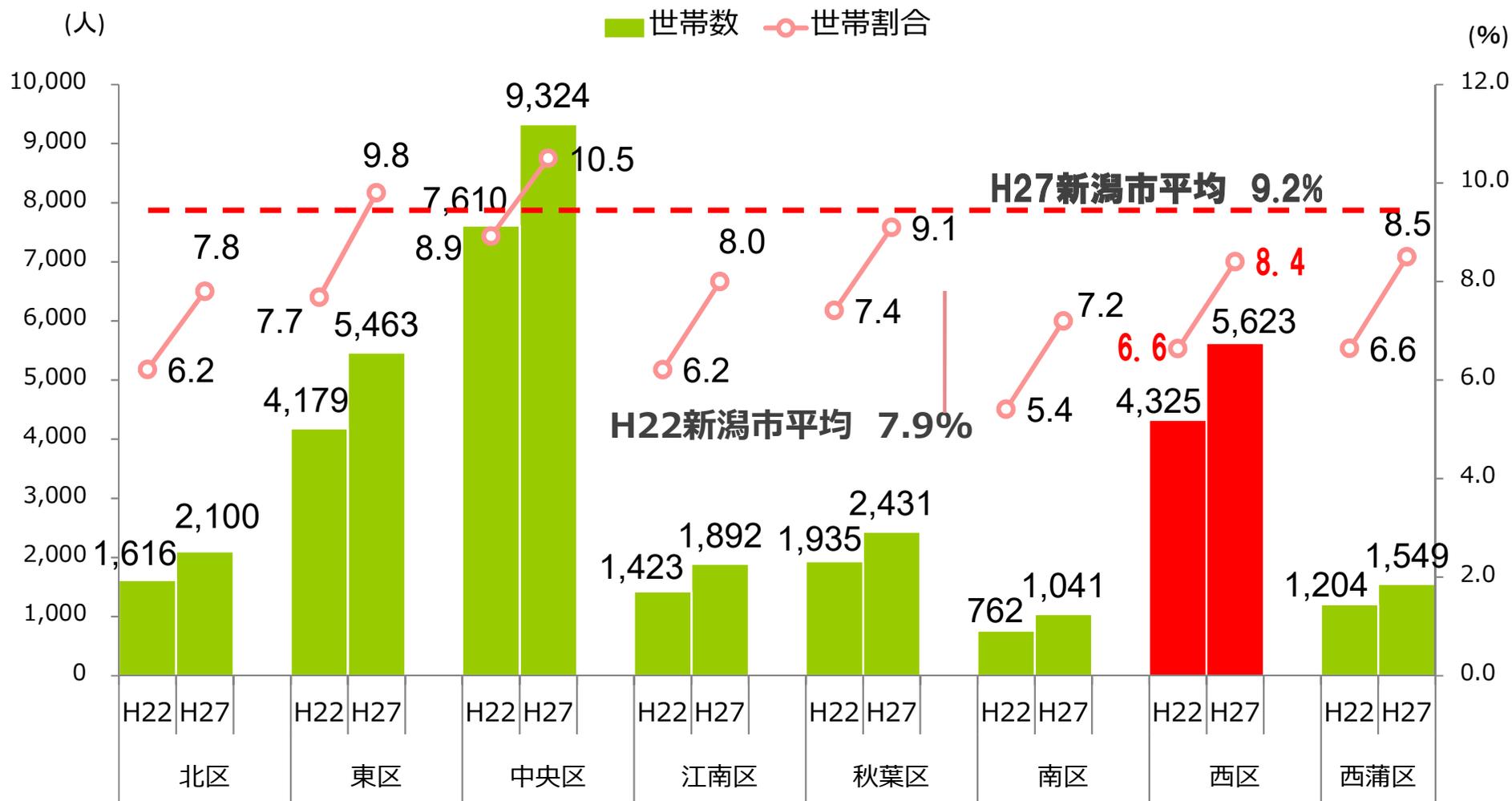
健康に無関心な人への意識付けが必要！

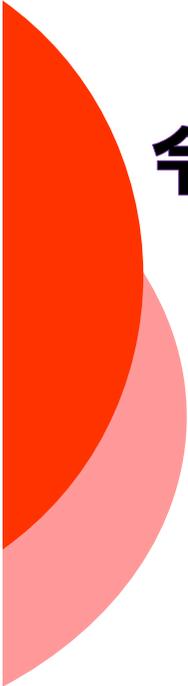
※3年連続未受診者アンケート結果(中野小屋・黒埼中学校校区)

65歳以上単独世帯の割合



- 高齢者単独世帯の割合が高い区は、中央区、東区、次いで秋葉区となっている
- 高齢者単独世帯の割合が低い区は、南区、北区となっている





令和2年度 西区組織目標 【組織の目的・方向性】

西区区ビジョンの区の将来像

**「都市と農村が融合する、
うるおいの住環境と
優れた学術環境に育まれるまち」**

の実現を目指す

令和2年度 西区組織目標 【組織の目的・方向性】

目指す区のすがた

- 1.人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち
- 2.都市と農村が融合するまち
- 3.だれもが学び合える学術と文化のまち
- 4.豊かな自然と快適な住環境を大切にするまち
- 5.地域と区役所が共に歩むまち

5つのまちづくりを進める

令和2年度 西区組織目標 【重点目標】

1. 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます。
2. 健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。【未達成】
3. 子育て中の親の孤独感、不安感を軽減され、健全な子育てを支援します。
4. 地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます。
5. 「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組みます。

R2取組結果



1. 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます

地域での支え合いのしくみづくりを進めるため、支え合いのしくみづくり推進員と連携し研修会を行ったほか、地域の茶の間の活性化のため、運営者を対象とした研修会を実施。

【R2実績】

○支え合いのしくみづくり研修会の開催 (R2.11.14 150人参加)

・内容: 広域的な支え合い活動の事例紹介、パネルディスカッション

○地域の茶の間研修会の開催 (R3.2.15 104人参加)

・内容: 地域の茶の間の運営者向けの研修会

R2目標を達成し、R3も継続して研修会2回実施

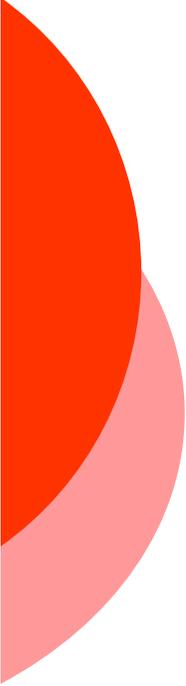
1. 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます

【訪問型生活支援サービスの創出・地域の茶の間の新規・拡充件数】

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
訪問型生活支援サービス	新規	2				
地域の茶の間	新規	12	8	9	5	
	週1回開催に拡充	4	8	1	3	
計	単年度件数	18	16	10	8	3
	累計件数	18	34	44	52	55

R2目標(累計件数)51件を上回り52件！

R3目標はコロナ禍の中、55件を設定。



1. 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる 支え合いのしくみづくりを進めます

【今後(R3)の方向性】

- コロナ禍であっても、支え合いのしくみづくりを進めるため、**感染防止を踏まえた新たな手法でのつながりづくりをモデル実施**
- 支え合いのしくみづくりの研修会を継続開催
- 啓発パンフレットを活用しながら、地域の支え合い活動の維持と一層の推進

2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

◆地域健康リーダー育成講座の実施

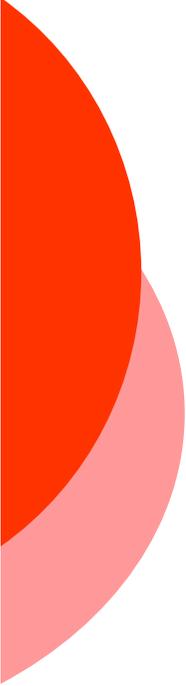
目的: 健診や健康づくりに無関心な層へ口コミなどの手段で情報を届ける
地域健康リーダーを育成する。

対象: 西区の運動普及推進委員、食生活改善推進委員

内容: 西区の健康状況、運動、食事、歯科のワンポイント知識。
コミュニケーション技術 など

**R2年度
延べ95人が受講、
地域で活動しています**





2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

○ウォーキング講習会の開催【年6回】

- ・内容:初心者・経験者を対象に、ウォーキングの基本についての講義と実習

○ロコモ予防講座の開催【年2回】

- ・内容:骨や筋肉などの衰えを予防し生活レベルを維持するための講義と実習

○高齢者体操介護予防自主グループ支援【年34回】

- ・内容:老人憩の家等で実施する「高齢者体操自主グループ」への支援

○出張！どこでも健康教室【年14回】

- ・内容:地区団体からの依頼で実施する「健康づくり教室」
※計測、栄養の講義、運動実技、歯科指導 など

○生活習慣病予防講座の開催【年6回】

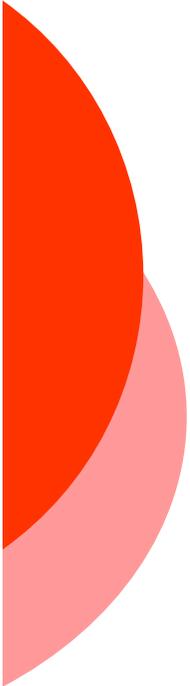
- ・内容:生活習慣病予防のための「健康づくり講演会」を開催

2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

【各講座等の参加延人数】

	H29	H30	R元	R2
健康リーダー育成講座	—	—	225	95
ウォーキング講習会	732	348	167	80
ロコモ予防講座		139	53	34
高齢者自主グループ支援	271	283	270	234
出張健康教室	353	313	358	194
生活習慣病予防講座	228	203	395	83
その他イベントなど	188	700	856	—
計	1,772	1,986	2,324	720

コロナ禍の中、R2目標700人を上回り720人！



2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

【健康寿命延伸事業（特定健診受診勧奨）】

目的：特定健診の受診率向上に向け、対象者
へ保健師による受診勧奨を行う

対象者：3年連続未受診者 など

内 容：訪問、電話、文書による受診勧奨

実施地区：中野小屋、黒埼、小新

2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

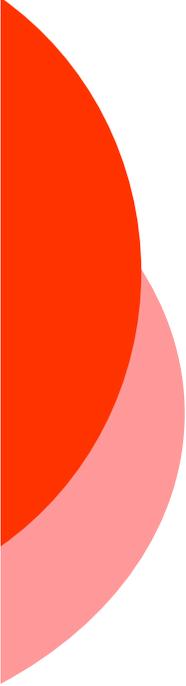
【受診勧奨の実施状況】

単位:人

	H29	H30	R元	R2
中野小屋地区	178	80	24	25
黒埼地区	500	219	183	129
小新地区			283	328
計	678	299	490	482

※各年度対象者全ての人数

全ての対象者に受診勧奨を実施し目標を達成！



2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

【健康寿命延伸事業】（ハイリスク者関連）

目的：特定健診の結果から生活習慣病予防につなげる。

対象者：血圧、脂質、血糖が重複して有所見の方等

内容：

- ①**健康相談**：個人の生活習慣に合わせた具体的な指導
- ②**動脈硬化予防教室**：個人の動脈硬化についての検査とともに、生活習慣の個別指導や運動・栄養面から動脈硬化について学ぶ

成果：文書と電話勧奨で利用者増加。生活改善を図る。

2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

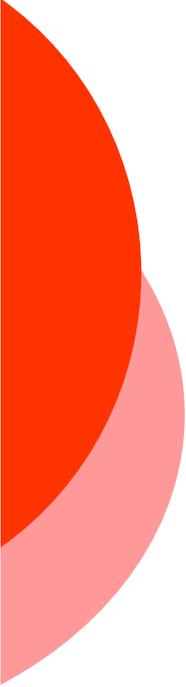
【ハイリスク者関連事業の実施状況】

単位：人

	H29	H30	R元	R2	R3
健康相談	167	138	141	120	65
動脈硬化予防教室	30	52	53	79	—
健康アップカレッジ	—	—	—	—	135
計	197	190	194	199	200

R2は参加者目標150人に対し199人で目標を達成！

R3はコロナ禍の中、参加目標200人を設定



2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

【受診勧奨および生活習慣改善への取組】

【中野小屋地区】

○特定健診受診勧奨、減塩啓発の回覧

回覧目標2回⇒実績2回

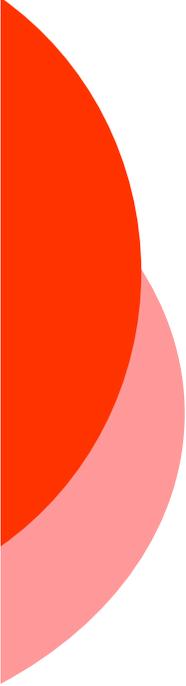
○特定健診受診勧奨、減塩啓発の健康教育

目標2回実施⇒新型コロナの影響で実績1回

【黒埼地区】

○適切な塩分摂取、運動普及の健康教育

目標8回実施⇒新型コロナの影響で実績5回



2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

【今後(R3)の方向性】

- 特定健診受診率の向上に向けて、未受診者への受診勧奨に継続して取り組む
- 多専門職種による健康教育の充実
- 地域で口コミで健康づくりを発信・周知する「健康応援隊（健康リーダー）の育成充実
- コロナ禍の中でも安心・安全にウォーキングを学び、楽しく実践できるよう、DVDの作成、遊歩道に距離標を設置する環境整備、イベントの開催

3.子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します

【子育て支援講座の実施】

〇フレママ・フレパパ応援プログラム【年4回】

- ・出産後、身近な子育て支援機関である子育て支援センターとつながりやすくするため、当該センターを会場に、安産教室等の講座を開催

〇BPプログラム【年7回】

- ・初めて子供をもつ母親のための仲間づくり、親子の絆づくり、少し先を見通した育児の基礎知識の学習
- ・対象者：西区在住の生後2～5か月までの第1子と母親

〇NPプログラム【年2回】

- ・子育てについて学ぶ機会を提供し、育児上の不安、孤独感の軽減を図り、仲間づくりを進める
- ・対象者：西区在住の概ね1～3歳の子供をもつ親

3.子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します

【子育て支援講座の実施】

OCSP(コモンセンスペアレンティング講座)【年2回】

- ・効果的なしつけ方を学び、親子のコミュニケーションの改善を図り、虐待の未然防止を図る
- ・対象者:西区在住の概ね2歳～小学生(低学年)の子供をもつ親

【子育て支援講座の実施状況】

単位:人
(プレママ・プレパは組)

	H29	H30	R元	R2
プレママ・プレパパ				15
BPプログラム	160	160	160	72
NPプログラム	19	24	20	16
CSP講座	12	12	12	17
計	191	196	192	120

3.子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します

子育て情報の発信【にしっこはぐくみLINK】

- ▷ 西区在住の妊婦・3歳未満の子どもの保護者等が対象
- ▷ 子育て世代の利用率が高いLINEを活用して子育て情報 + **西区の行政情報を発信**
- ▷ 必要な情報を確実に届け妊娠・育児に関する不安感や悩みを軽減

○マタニティ期(毎日配信)

- ・おなかの赤ちゃんの様子や出産の基礎知識

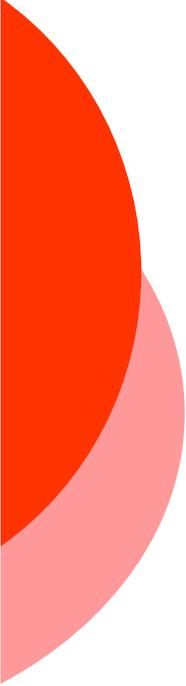
○子育て期(生後100日まで毎日配信)

- ・産後の体調管理、予防接種、子育てアドバイス、お子さんの成長や発達など



にしっこはぐくみ
LINK

**R2は開設 (R元.7) 以来の累計登録者数目標2,840人を
超え3,520人！ 対象者の5割が登録！**



3.子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します

【今後(R3)の方向性】

○子どもの各年代に対応した子育て支援講座を継続して開催

○地域子育て支援センター等で「プレママ・プレパパ教室」を開催し、切れ目のない支援を進める

○「にしっこはぐくみLINK」の内容・広報の充実

4.地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます

近年の災害の状況（全国・西区）

年度	全国	西区
平成29年度	平成29年7月九州北部豪雨	土砂災害避難情報発令 1月大雪
平成30年度	平成30年7月豪雨(西日本豪雨) 平成30年北海道胆振東部地震	
令和元年度	令和元年東日本台風(台風19号)	6月山形沖地震(津波注意報)
令和2年度	令和2年7月豪雨(熊本豪雨)	1月大雪

4.地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます

【地域の避難マップ作成】

目的：住民参加型のマップ作成を通じて、一人一人の防災意識の向上と地域防災力の強化を図る。

対象者：自主防災会、自治会・町内会 など

内容：地域防災力の強化のため、地域住民が参加するワークショップを開催し、避難経路などを記載した避難マップの作成を支援

R2は取組以来（H24～）の作成目標57団体を達成！

R3目標は64団体

【避難マップ作成数】

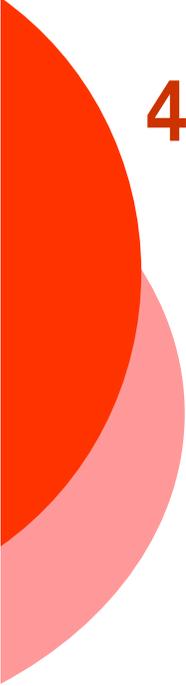
単位：団体

		H29	H30	R元	R2	R3
避難マップ作成数	単年度	9	7	8	9	7
	累計数	33	40	48	57	64

4.地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます

【作成済の避難マップ内訳（想定災害別）】

想定災害	～R元	R2	合 計
洪 水	18	5	23
津 波	20		20
地 震	9	4	13
浸 水	1		1
合 計	48	9	57



4.地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます

【今後(R3)の方向性】

- 地域の防災意識の向上に効果がある「地域の避難マップ」の作成に継続して取り組む
- 区内各避難所で、想定避難者数に対応した備蓄に過不足があることから、各避難所の適正備蓄に取り組む

くろさき茶豆

地理的表示保護制度 (GI) にH29.4に登録 全国で29番目，新潟県で初！

気候や土壌など生産地の特徴とその地域で長年培われてきた生産方法により，高い品質と評価を獲得してきた産品の名称 (地理的表示)を，国が知的財産として保護する制度。

【特徴】

明治末期から地元で選抜されてきた「小平方茶豆」に由来し，①ポップコーンのような独特の香り ②鮮度を保つため午前1時頃から行う「朝採り」 ③収穫量よりも味を優先した「実入り8分の収穫」が特徴



いもジェンヌ（紅はるか）

- 西区の砂丘地は、主に加工用の大根と葉タバコの産地であった
- 大根は重量のある作物。生産者の高齢化によりリタイアが増加
- 葉タバコは、需要の低下に伴い廃作が進められる



○平成19年、葉タバコの代用として、高齢者でも比較的楽に扱える作物として、さつまいもの栽培を検討・試作

【特徴】

- 糖度が高く、非常に甘い(生:12度, 焼芋30～35度)
- 後味はすっきりとしてしつこくなく、舌触りはしっとりなめらかで上品な味
- 「紅はるか」の由来は、安納芋よりも”はるかに甘い”から



新潟すいか

○国内のスイカ作付面積ランキング

※出展:農林水産省2020年農林業センサス

①熊本県 ②山形県 ③千葉県 ④鳥取県 ⑤新潟県 (335ha)

※新潟県のうち西区は151ha, 県内45%シェア

※国内屈指のスイカ産地

○全国県庁所在地のスイカ購入数量(令和元年)

※出典:総務省家計調査

・新潟市が第3位(購入数量:6.4kg/世帯)

【特徴】

●豊富な甘みとシャリシャリした食感

●美容成分が豊富

- ・リコピン(シミ・ソバカスの原因となる活性酸素の除去や体脂肪燃焼効果):トマトより多く含む
- ・肌の老化を予防する「βカロテン」:緑黄食野菜より豊富
- ・シトルリン(保湿効果・美肌効果)・ビタミンC



5.「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組みます

【西区特産農産物の情報発信・PR】

内容：西区特産農産物の販売促進活動やイベント等を通じて、特産農産物の魅力を県内外へ発信

・豊洲市場、首都圏百貨店、ネスパス など



R2: 西区特産農産物をラジオやテレビ等の媒体やSNS (インスタグラム等) を活用してPRし、魅力を県内外へ発信

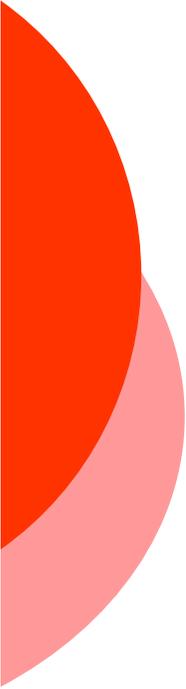
・UX「ナマ+トク」、TeNY「新潟一番」、BSN「西区ぞっこんWeek!」、西区インスタ! フォトコンテスト(くろさき茶豆・いもジェンヌ) など

5.「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組みます

【県内外への特産農産物PR回数】

	H29	H30	R元	R2	R3
PR実施回数	31	21	23	20	20

R2はPR実施目標15回を超えて達成！



5.「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組みます

【くろさき茶豆の知名度向上

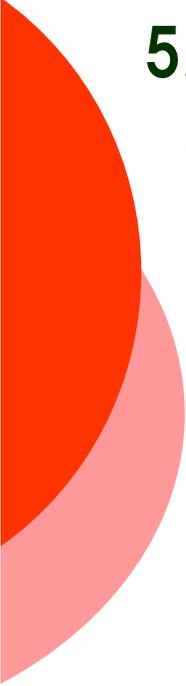
・消費拡大に向けた取り組み】

○くろさき茶豆PRイベントの開催⇒ **新型コロナで中止**

- ・イベント会場での密接、密集などを防ぐため、人を集めるイベントや販促会などの事業は中止

○プロモーション事業の実施【年20回】

- ・さらなる知名度の向上を図るため、県内外に向けたプロモーションを実施
- ・マスメディア等を活用したプレゼントキャンペーンの実施や、テレビ番組に合わせた茶豆PR動画の製作など



5.「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組みます

【いもジェンヌの生産拡大

・消費拡大に向けた取り組み】

○生産拡大に向けた取り組み

- ・原材料補助金、新規栽培者補助金の交付

○消費拡大に向けた取り組み

- ・販売促進グッズ作成、新商品開発希望者に試作用いもジェンヌペーストの提供、西区一斉いもジェンヌ給食の日

○販路拡大に向けた取り組み

- ・フードメッセinにいがたへの出展

5.「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組みます

○商品等の研究開発に向けた取り組み

- ・新潟大学と連携し、新商品の開発や高付加価値化を目指す

○生産地域の活性化に向けた取り組み

- ・JA新潟みらい「いっぺこ〜と」とタイアップした、いもジェンヌキャンペーンの実施(プレゼントキャンペーン、スタンプラリー)

【いもジェンヌ作付面積の推移】

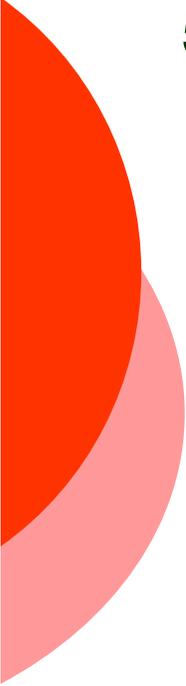
単位:ha

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
9.45	13.80	16.77	20.66	21.57	21.03	19.97	21.74

【くろさき茶豆 (GI) 生産面積の推移】

単位:ha

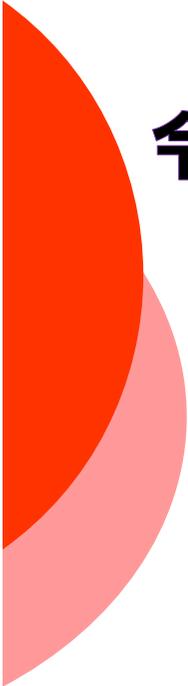
H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
				155.21	161.60	164.60	150.90



5.「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組みます

【今後(R3)の方向性】

- 西区特産農産物のさらなる知名度向上のため、コロナ禍であっても、メディアやSNSを積極的に活用し、県内外へ向けたPRを実施
- 農商工連携に県・銀行などとの連携を加え、高付加価値化とブランディングの確立を進める
- 新たにインターネットを活用した購買につながるシステム作りに取り組む



令和3年度 西区組織目標 【組織の目的・方向性】

西区区ビジョンの区の将来像

**「都市と農村が融合する、
うるおいの住環境と
優れた学術環境に育まれるまち」**

の実現を目指す

令和3年度 西区組織目標 【組織の目的・方向性】

目指す区のすがた

- 1.人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち
- 2.都市と農村が融合するまち
- 3.だれもが学び合える学術と文化のまち
- 4.豊かな自然と快適な住環境を大切にするまち
- 5.地域と区役所が共に歩むまち

5つのまちづくりを進める

令和3年度 西区組織目標 【重点目標】

1. 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます。
2. 健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。
3. 子育て中の親の孤独感、不安感を軽減され、健全な子育てを支援します。
4. 地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます。
5. 都市と農村、生産者と消費者との交流の場を設け、地場農産物の周知と地産地消、消費拡大を図ります。

R3主な取組



1. 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます。

【R3の主な取り組み】

○支え合いのしくみづくり研修会の開催（目標：年1回開催）

- ・内容：講演、実施団体による活動紹介などを予定

○地域の茶の間研修会の開催（目標：年1回開催）

- ・内容：地域の茶の間の運営者向けの研修会を予定

○公募型オンラインモデル事業の実施【新規】

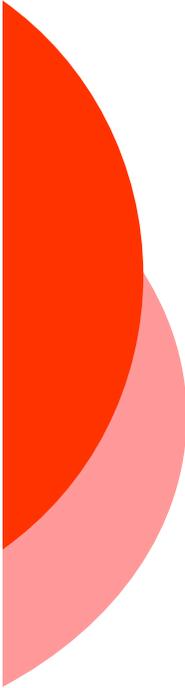
- ・公募型のモデル事業として、団体・グループ・学校・事業所等が西区住民を対象とするオンラインサービスを活用したつながりづくりを行う事業を公募

※ @10万円上限



訪問型生活支援サービスの創出や

地域の茶の間の増加・拡充をR3年度で3件を目標



1.高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます

公募型オンラインモデル事業

「心の握手でつながるプロジェクト」

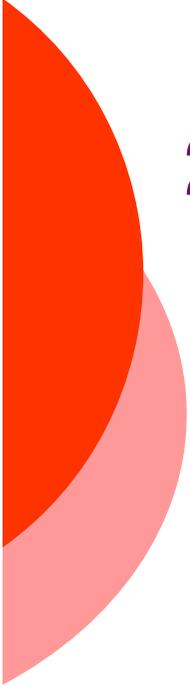
コロナ禍で地域活動や外出の自粛により、地域のつながりが薄れないよう、公募型のモデル事業を実施。

◆募集する事業

市内の団体等が西区の住民を対象とするオンラインを使ったつながりづくりを行う事業(R4.1月末までに完了する事業)

◆1件あたり10万円を上限(委託料)

◆応募方法 R3.5.17(月)～6.16(水)(必着)に必要書類を
西区健康福祉課まで



2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

【R3の主な取り組み】

(1)地域健康応援隊（健康リーダー）の育成

- ・内容：健康に関心な層に地域で口コミで働きかける健康応援隊を育成

(2)高齢者体操自主活動へのサポート

- ・内容：体操教室を終了した高齢者を対象に、自主グループ活動を看護師等が支援

(3)依頼による健康教室

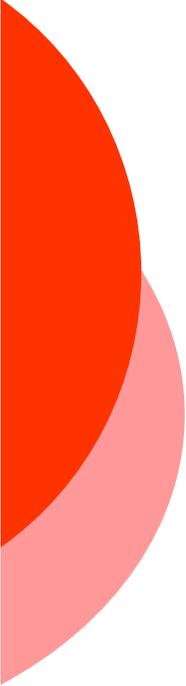
- ・内容：地域からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士などが対応

(1)～(3)合計で530人の参加を目標

(4)健康寿命延伸事業（ハイリスク者関連）

- ・内容：健康相談、健康アップカレッジの開催

200人の参加を目標



2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

【R3の主な取り組み】

(5)健康寿命延伸事業（特定健診受診勧奨）

- ・内容：中野小屋・黒埼・小新地区を対象に、引き続き全ての3年連続未受診者等への受診勧奨

対象者の全ての方への受診勧奨実施を目標

(6)西区NEWスタイルウォーキング【新規実施】

2.健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します

西区NEWスタイルウォーキング

コロナ禍においても安心して健康づくりが進められるよう、ウォーキングの基本や注意点をまとめたDVDの作成やホームページで動画を配信し、個人で気軽に学べる機会を創出るとともに、区内の遊歩道に距離標を設置し、実践の環境整備と意欲向上を図ります。

○まずは学ぼうNEWスタイルウォーキング

- ・ウォーキングの基本等のDVD作成とともにホームページ等で動画を配信し、個人で気軽に学べる機会を創出

HP動画視聴回数500回を目標

○距離標設置

- ・西川左岸と電鉄跡地の遊歩道に距離標を設置

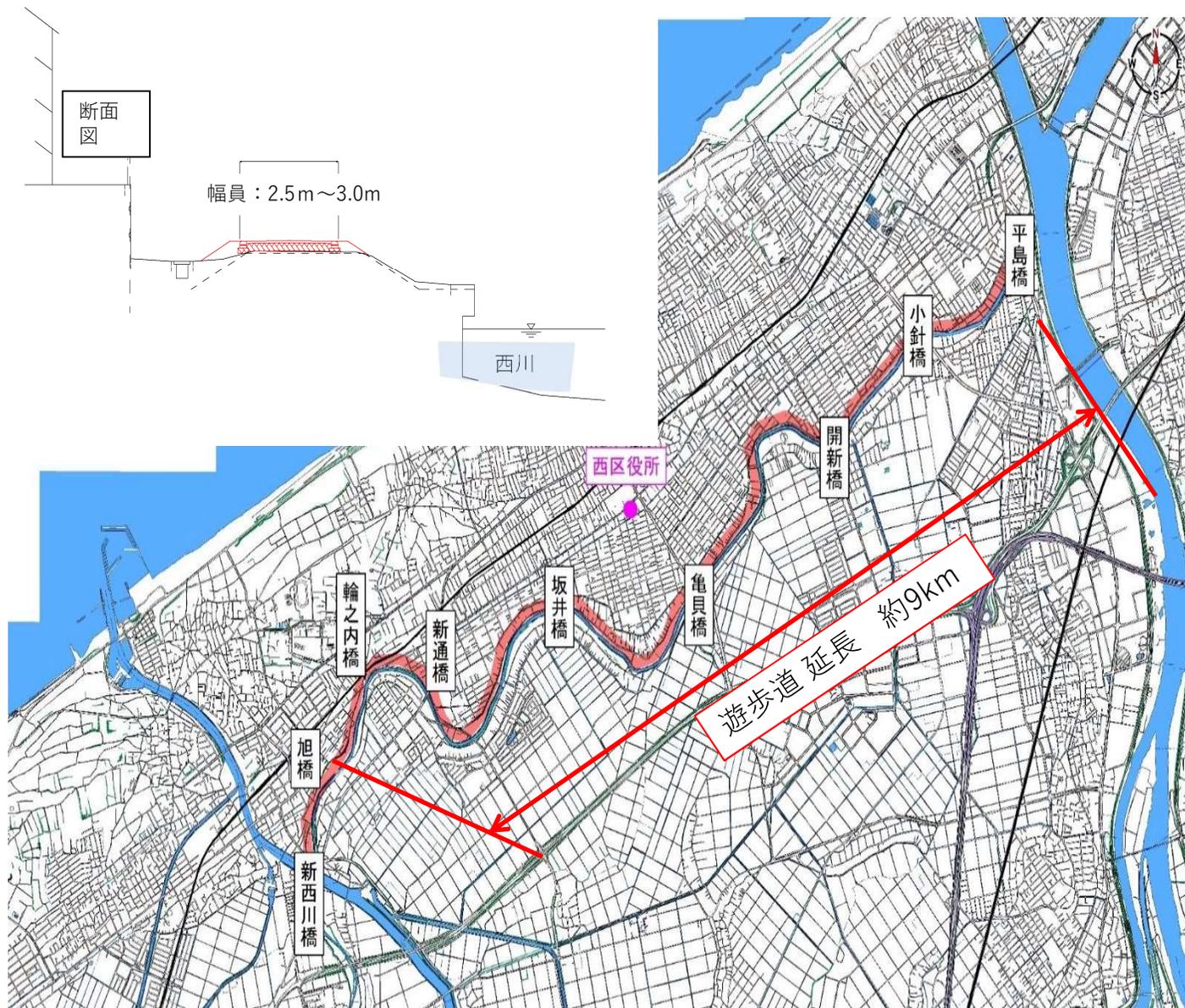
○西区ウォーク

- ・ウォーキングの楽しさを学び運動の習慣化につなげる



西川左岸遊歩道 全体事業概要

学べて 遊べて
暮らせる
新潟西区



開新橋付近



坂井橋付近



旭橋付近



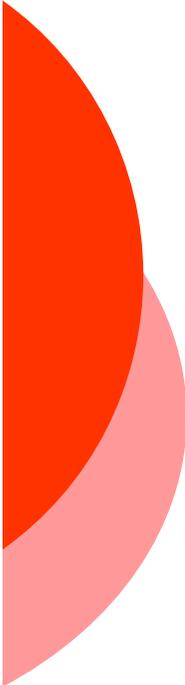
電鉄跡地（青山～大野町）の遊歩道整備

学べて 遊べて
暮らせる
新潟西区



- 平成19年度より、電鉄跡地(L=6.3km)で自転車歩行者専用道路を整備着手
- 先月2日まで、山田区間(L=630m)を含む区間(L=6.13km)が供用開始
- 残りの善久区間(L=170m)については、**今年の夏頃完成**に向けて整備を進めている





3.子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します

【R3の主な取り組み】

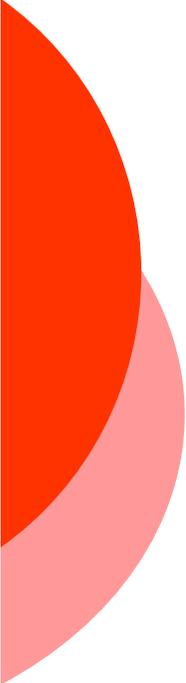
○子育て支援講座の開催

- ・内容:子育ての各期にわたる子育て支援講座を開催

○子育て情報の発信（にしっこはぐくみLINK）

- ・内容:登録者に母子保健や子育て情報に加え、行政の相談窓口や育児講座等の行政情報をLINEにより配信

新規登録者840人(累計4,360人)を目標



4.地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます

【R3の主な取り組み】

○地域の避難マップの作成

- ・内容:地域防災力の強化のため、地域住民が参加するワークショップを開催し、避難経路などを記載した避難マップの作成を支援

7地域での作成を目標

○備蓄物資整備事業【新規】

- ・内容:西区内の各避難所での想定避難者数に対して、備蓄の適正配置を進める

災害時の備蓄物資について

◆ 避難所(学校など)への分散備蓄

- ▷ 新潟市では拠点備蓄から分散備蓄へ方針転換
(令和元年度) 分散率100%

西区内全ての避難所に備蓄物資を配置

◆ 課題

- ▷ 施設の空きスペースを活用して配置しており、施設によっては、十分なスペースが確保できず、人口比に応じた配分ができていない。

◆ 対応

- ▷ スペースを有効活用するため、備蓄物資用の収納ラックを各避難所に設置する。

西区の想定避難者数と備蓄状況

【西区全体】

○想定避難者数

・西区人口（156,149人）×15.9% = **24,827人**

○備蓄量（主食／アルファ米・お粥など） **35,598食※**

※令和3年度中に賞味期限が切れる分も含む

充足率
143.4%

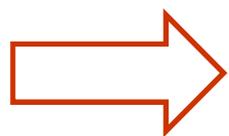
【各避難所への配置状況】

○主食ゼロの避難所

12 / 38 施設

○主食1,000食以上の避難所

11 / 38 施設



**施設の空きスペース状況により
偏った配置になっている。**

備蓄物資整備事業【新規】

スペースを有効活用するため、備蓄物資用の収納ラックを各避難所に設置し、人口比に応じた備蓄物資の適正配置を進める。

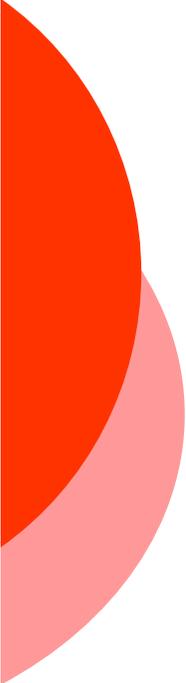
【設置数（見込み）】

○小中学校など市立施設を中心に、約85台

※1台（180cm×180cm）で約250人分を収納

$$250\text{人分} \times 85\text{台} = 21,250\text{人分}$$

平置きや市立以外の施設も併用して適正に配置する。



5.都市と農村、生産者と消費者との交流の場を設け、地場農産物の周知と地産地消、消費拡大を図ります

【R3の主な取り組み】

○特産農産物のPR・情報発信

- ・マスメディアやSNSなどを活用して県内外でPR

○くろさき茶豆の知名度向上・消費拡大に向けた取組

- ・知名度向上や消費拡大を目的にプロモーション活動などを実施

○いもジェンヌの生産拡大・消費拡大に向けた取組

- ・生産拡大や新たな加工商品の開発支援などを実施

○特産農産物の知名度向上・購買機会につなげるホームページの開設・運用【新規】

ホームページへのアクセス数3,000件を目標

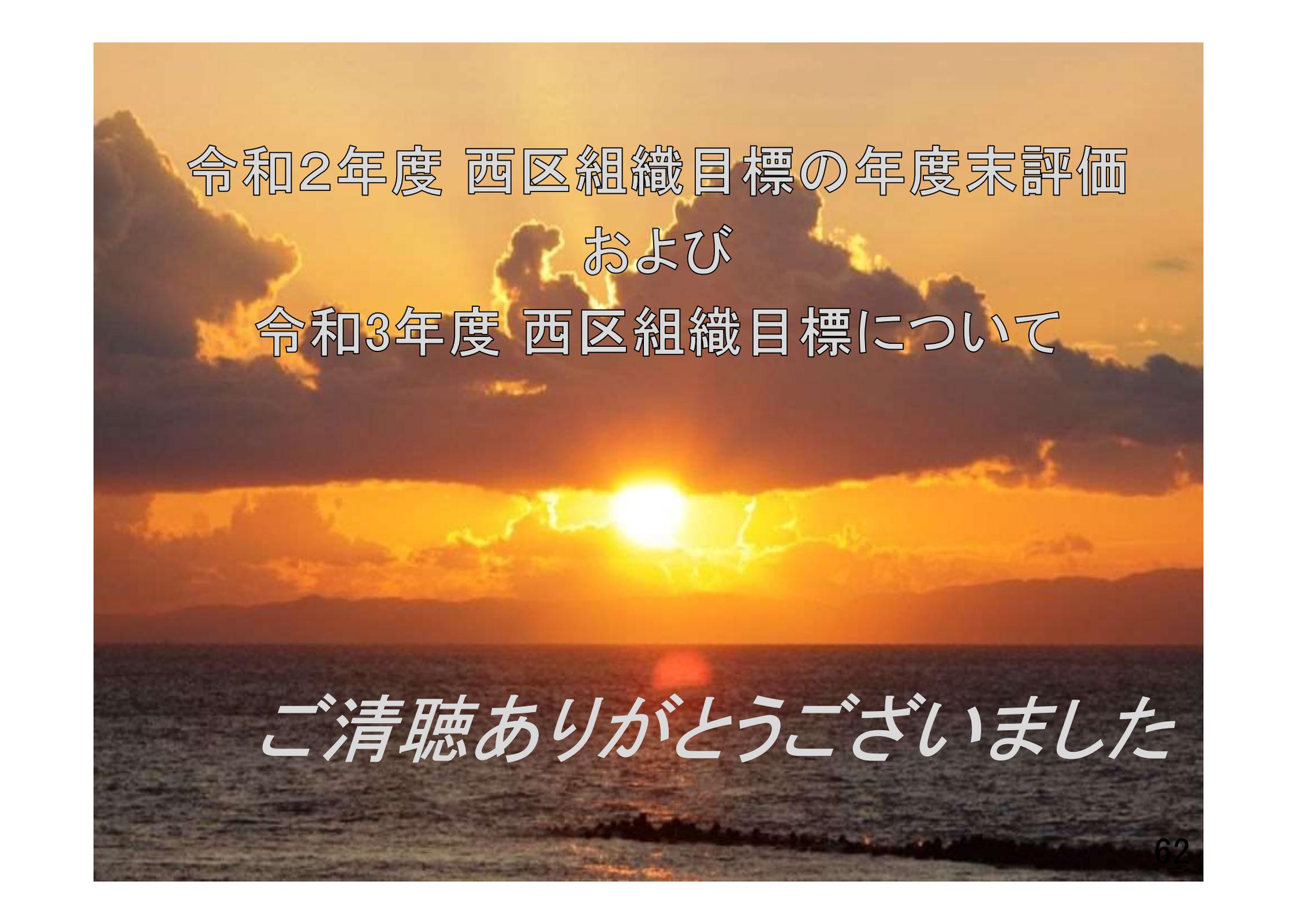
5.都市と農村、生産者と消費者との交流の場を設け、地場農産物の周知と地産地消、消費拡大を図ります

ホームページの概要

- ・西区の特産農産物である「くろさき茶豆」及び「いもジェンヌ」の特徴や美味しい食べ方、購入できるお店の紹介などを掲載。
- 「知る・食べる・買う」の情報を確認できるウェブサイトを予定。



ウェブサイトイメージ
※くろさき茶豆農商工連携協議会
製作中

A sunset over the ocean with a bright sun low on the horizon, casting a golden glow across the sky and water. The sky is filled with soft, dark clouds, and the sun's reflection is visible on the water's surface.

令和2年度 西区組織目標の年度末評価

および

令和3年度 西区組織目標について

ご清聴ありがとうございました